

令 和 4 年

第2回（6月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	5番 福 田 勝 也 議員
質問	<p>1. ふるさとづくり応援基金の活用事業について</p> <p>本町では、ふるさとづくり応援寄附金が順調な推移で多く寄せられており、各種の支援策やまちづくりのための事業に幅広く活用されている。</p> <p>本年度は、18事業に対して活用基金総額7億1000万円が当初予算に計上されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 活用基準はどのようにになっているか。 (2) これまでの収入の総額と活用額は。 (3) これまでの活用事業の主な内容は、どのようなものがあるか。 		
事項	<p>2. 町長選挙について</p> <p>今年9月、任期満了による町長選挙が行われる。</p> <p>一瀬町長は、6期24年間と長期にわたり本町行政に携わってこられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6期24年間の財政面、基幹産業、観光事業、まちづくりの実績と成果は。 (2) 本町の今後の課題は、どのように考えるか。 (3) 次期改選は、どのように考えているか。 		
及び			
要旨			

通告順位	2	通 告 者	7番 横山聖代議員
質問事項及び要旨	<p>1. 学校給食費について</p> <p>現在、本町の学校給食費は、自治会制度による地区PTAの役員が徴収を行い、町への納付する私会計である。</p> <p>全国的には、学校で給食費の管理等をしていることが、教職員の大きな負担となるため、働き方改革も兼ねて、学校給食費の公会計化が推奨されている。</p> <p>(1) 学校給食費の徴収等を地区PTAにお願いしている理由は。</p> <p>(2) 地区PTA役員に学校給食費ゼロ世帯、すなわち要保護・準要保護世帯であることが知られることについて、プライバシーの侵害にあたると考えられないか。</p> <p>(3) 地区PTA役員の負担軽減を図るためにも、学校給食費を公会計に移行すべきではないか。</p>		
質問事項及び要旨	<p>2. 家族同然のペットの飼育及び支援について</p> <p>環境省の統計によると、2020年度に県内で殺処分された猫は1,528匹で全国最多であった。県は、2008年に動物愛護管理推進計画を策定し、自治体に対してボランティア団体等と連携した譲渡体制作りの推進を求め、飼い主の責任内容を明記した。現在、本町ではボランティアの方により、地域猫活動が徐々にではあるが進められているものの、未だ捨てられる猫は後を絶たない。</p> <p>また、本年6月1日より動物愛護管理法の改正が施行されたことで、ブリーダーやペットショップ等で販売される犬猫には、マイクロチップの装着が義務化された。なお、飼い主に対しては努力義務に留まっている。</p> <p>(1) 県では、地域猫とするための避妊去勢手術費用の助成はあるが、捨てられる猫が多いため、地域猫活動すら追いつかない状況である。捨てられる猫を減らすためにも、飼い猫に対しての避妊去勢手術費の助成ができるないか。</p> <p>(2) 野良猫化の要因として、捨て猫以外に多頭飼育の崩壊もある。そのため、多頭飼育する、またはしている飼い主に対しての届出制度を策定してはどうか。</p> <p>(3) マイクロチップ装着の義務化に伴い、迷い犬や猫の捜索の負担軽減のために、本町にマイクロチップ読取リーダーの設置をしてはどうか。</p>		

通告順位	3	通 告 者	6番 城 後 光 議 員
質問事項及び要旨	<p>1. タブレット端末を活用した学習環境について</p> <p>昨年度、児童生徒に一人一台のタブレット端末が配布された。</p> <p>現在では学習面での活用に限らず、卒業式の同時配信など広範囲で活用されている。</p> <p>(1) これまでのタブレットの活用状況は。 また改善が必要な課題と今後の活用方針は。</p> <p>(2) デジタル機器への依存による集中力低下など、負の側面にどう対応しているか。</p> <p>2. ジェンダーレス制服などトランスジェンダーへの対応について</p> <p>性の多様性を認め尊重するため、制服のあり方もきめ細かな対応が求められている。</p> <p>長崎市や大村市など、県内でもジェンダーフリーの制服導入が検討されている。</p> <p>(1) 学生服及びセーラー服に馴染めない生徒に対してどう対応していく考えか。</p> <p>(2) 制服検討委員会が開催されているが、どのような協議がなされたか。</p> <p>3. 特別な支援が必要とされる子供たちへの対応について</p> <p>小・中学校においては、特別支援教育支援員、学力向上支援員が配置され、特別な支援を必要としている児童生徒に、発達状況に応じた個別支援が行われている。</p> <p>しかしながら、未就学児における全町的な特別支援教育の支援は十分とは言い難い。</p> <p>(1) 未就学児に対しての特別支援教育の現状は。</p> <p>(2) 各支援員を認定こども園・保育園に派遣し、保育者のサポートを行う考えは。</p>		

通告順位	4	通 告 者	4番 岡 村 達 馬 議 員
質問	<p>1. 学校の安全管理とG I G Aスクール教育実践の成果等について</p> <p>(1) 雨期や台風の時期を迎えるが、自然災害への対応はどの様にしているか。 また、必要な避難訓練等はどうしているか。</p> <p>(2) 学校のセキュリティと児童生徒の安全確保、及び災害発生時の地域や関係団体との相互協力はどうなっているか。</p> <p>(3) G I G Aスクールによる子供たちの創造性を育む教育やI C T環境レベルに応じた教育実践の成果は出ているか。</p> <p>(4) 全国的に教職員の不足が報じられている。町の学校への影響はないのか。</p>		
事項	<p>2. バス運行の変更問題と高齢者等の交通安全対策について</p> <p>西肥バスの大幅な運行変更が行われ、様々な問題や課題が出てきていると考える。町としての見解を伺いたい。</p> <p>(1) 佐世保市内方面あるいは波佐見方面への直行バスは大きく削減された。通勤通学ばかりでなく、通院など生活への支障が出てきていると思われるがどう捉えているのか。</p> <p>(2) 日常の公共交通が不便になると、高齢者や一般の方でも免許証返納を躊躇される方が出てくると考える。今後の対応と交通安全対策を含め、どの様に考えるか。</p>		
及び 要旨			

通告順位	5	通 告 者	3番 田添有喜議員
質問事項及び主旨	<p>1. 道路整備について</p> <p>町内の各事業所等では、コロナ禍の中いろいろな工夫がなされ、町内外からの集客を期待した多くのイベント等が行われ、町にも活気が戻りつつある。</p> <p>今後町のさらなる活性化を図るためにには、道路整備はとても重要であり、来町者に対するおもてなしの環境づくりの一環としても欠かせない。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 八島交差点について本年3月議会後、どのような実態把握が行われたか。 (2) 町道及び県道の陥没箇所の対応はどのようにになっているか。 (3) 県道107号線の中央線（村木郷）の対応はどのようにになっているか。 (4) 道路標識の設置や撤去について、町としてどのように要望等を行っているか。 (5) ヘルシーウォークコースの表示板の撤去はどのようにになっているか。 		
質問事項及び主旨	<p>2. 教育行政について</p> <p>教育界では、時代の流れとともに大きな変革期を迎え、教師の働き方改革など流行に左右されている傾向にある。</p> <p>教育の充実は、町の発展や人づくりの基盤であり、課題も山積していると考える。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 波佐見町教員住宅の使用状況はどのようにになっているか。 (2) 町内小中学校における「いじめ」や「不登校」の実態はどうか。 (3) 中学校における部活動の在り方に対する教育委員会の考えはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ①部活動の加入状況はどうか。 ②部活動指導員制度への取組はどうか。 ③休日部活動の地域移行への取組はどうか。 (4) 教育委員会事務局が新庁舎へ移転後、総合文化会館を他の団体へ委託することについて、どのように進められているのか。 		

通告順位	6	通 告 者	9番 北 村 清 美 議 員
質問事項及 び要旨	<p>1. 人口減少対策について</p> <p>全国で人口減少が顕著にみられる中、本町も例外ではなく、高齢化や若年層の減少により、逆ピラミッド現象が急速に進んでいる。</p> <p>そういう社会背景から人員不足や人材争奪戦等が起こっている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 消防団について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①分団の定数不足が続いている。また、各分団における一人当たりの活動費が異なるが、それぞれの対策は。 ②非常時態勢の状況は。また、定数不足の対策として、各地区に消防団OBによる自衛消防隊を創設してはどうか。 ③団員の生命を守る避難マニュアルはあるか。 <p>(2) 職員の職場環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①職員の総数と年齢構成は。また、最近の新卒採用者の推移は。 ②職員の職務に対する意識改革と啓発は。また、カウンセラーの設置は。 ③技術職員の対策は。 ④給与アップの改革状況は。 <p>2. 町長選挙について</p> <p>9月に町長選挙が行われる。進退についてまだ明確にされていないが、次のことを問う。</p> <p>(1) 6期24年の実績は見事である。気力、体力を維持しながら、旺盛なチャレンジ精神をもって若さを失わず全うされたことは本当に称賛に値すると思うが、町長自身の自己評価は。</p> <p>(2) 首長の姿勢、考え方等はどうあるべきと考えるか。</p>		

通告順位	7	通 告 者	2番 岡 村 真由美 議 員
質問項目及び要旨	<p>1. 少子化について</p> <p>(1) 令和3年度、令和2年度、令和1年度及び平成23年度の本町における出生数は。</p> <p>(2) 全国・県の減少率の推移と比較し、本町はどういう現状にあるか。 またその要因は。</p> <p>(3) 今年度及び次年度以降の出生数を高めるための対策は。</p> <p>2. 町民霊園と無縁墓地について</p> <p>(1) 町民霊園の使用料の徴収が3年以上できていない墓地と墓標が建てられていない墓地への対応策は。</p> <p>(2) 町民霊園の外に墓石が運ばれ、並べられた経緯は。</p> <p>(3) 町内に点在する無縁墓地の今後の取り扱いについて、法的に注意すべき点は。</p> <p>3. 荒れ地について</p> <p>(1) 土地・家屋の固定資産税が徴収できていない件数は。 また相続登記が的確に行われていない宅地・農地・山林の面積の割合は。</p> <p>(2) 所有者が複数いて長く管理されておらず、将来的にも管理される可能性が低い荒れ地への対応は。また地域住民が管理する場合、法的に注意すべき点は。</p>		

通告順位	8	通 告 者	13番 尾上和孝 議員
質問項目及び要旨	<p>1. 魅力ある町づくりについて</p> <p>近年、コロナウイルスの影響で来町客が減少したものの、今年のガストロノミーウォーキングやはさみ陶器まつりでは賑わいをみせた。</p> <p>先日、九州経済調査協会が今年のゴールデンウィークの各地への来訪者数を示す「おでかけ指数」を発表し、九州・沖縄・山口の上位30市町村で、本町が2019年通年比、12.5倍で1位だったことが長崎新聞に掲載された。</p> <p>今後、更なる来客アップを図るには、窯業、農業はもとより、美しい自然を活かすことだと考える。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>(1) 今年オープンする鴻ノ巣公園のキャンプ場付近や波佐見温泉付近の桜並木、また、RVパーク場、町内の公園に芝桜を植えることができないか。</p> <p>(2) ふるさとづくり応援寄付金を利用して、町全体に桜や紅葉の苗木を植樹し、美しい景観づくりができるか。</p> <p>2. 町民霊園について</p> <p>現在、町民霊園において使用権の取得はされているが、墓標を建てないままにされている区画が多数あると聞く。</p> <p>その原因が、3年過ぎると使用料の一部を還付できないところにあるのではないかと考える。条例の一部見直しができないか。</p> <p>3. 町内の自動車販売業者の負担軽減について</p> <p>町内の自動車販売業者に買い取られた中古軽自動車は、再度利用者に転売するまでの間、その販売業の自己名義にしたうえで販売されている。そして、その自己名義内に係る4月1日時点での軽自動車税は自動車販売業者が負担している現状がある。</p> <p>少子化やコロナウイルスの影響により、販売不振で苦慮されている中、販売される軽自動車に対する軽自動車税の課税免除ができるか。</p>		

通告順位	9	通 告 者	1 1 番 藤 川 法 男 議 員
質問事項及び要旨	<p>1. 産業振興について</p> <p>(1) 陶器まつりが3年ぶりに開催され、22万人の来客があり久々の賑わいとなつたが、陶器まつり会場など、関係者からの意見はあったか。</p> <p>(2) 窯業関係者はもとより、町民の間でもSDGsへの関心が高まり、持続可能な事業などに対して期待が高まっている。</p> <p>そういった中、廃石膏リサイクル支援事業が本年度で終了すると聞くが、次年度以降も継続した支援ができないか。</p> <p>(3) 近隣市町では、補助事業として刈り取った麦のわらの「圃場へのすき込み」を推奨されている。麦わら焼きは、住宅等からの苦情が多く寄せられており、また、事故も発生している状況にある。SDGsの観点も含めて、本町はどのような対策があるのか。</p> <p>2. 子育て支援について</p> <p>近年、夫婦共働き等による保育園や認定こども園への早期での入園が多く、ほとんどの園で定員に達している。</p> <p>若者の定住計画と同様に園に対しての中・長期的な政策が必要と思うがどうか。</p> <p>3. 西ノ原土地区画整理事業について</p> <p>西ノ土地区画整理事業は、長期化しており時代の変革に対応できず遅れをとっている。</p> <p>地域住民や一部の町民からも計画の変更が必要であると聞くが、どのような計画があるのか。</p>		

通告順位	10	通 告 者	12番 今井泰照議員
質問項目及び要旨	<p>1. 自治会支援について 自治会アンケート調査による郷内各世帯の月の負担金では、月額で1,200円程の開きがある。 負担金が高い自治会は、人口減少や高齢化率が進行している地区であるため、町として新たな支援措置は考えられないか。</p> <p>2. 窯業振興について (1) 窯業人材育成事業における、これまでの実績は。 　また今後の方針をどのように考えるか。 (2) 町内の生地業者においては、若い人材が設備投資などを行い、新たな動きがみられている。 　そこで人づくり・まちづくり事業費補助金などを活用した先進地視察ができるないか。</p> <p>3. 教育問題について (1) 新型コロナウイルスでの影響により学級閉鎖などで、授業が遅れないよう措置として、各家庭でタブレットを活用したリモートによる学習を行ったと先般の全員協議会で説明があったが、実際に行ってみて問題などなかったか。 (2) 令和4年度一般会計当初予算において「奨学金返還支援費補助金」が新規に予算計上されたが、これまでに申込みや問合せなどはあっていいるか。 　また、対象者については「陶磁器産業及び関連事業所」、「認定こども園」、「保育園」、「介護事業所」の4事業所に限られているが、町内の全ての事業所を対象にできないか。</p>		

通告順位	1 1	通 告 者	1 O番 脇 坂 正 孝 議 員
質問項目及び主旨	<p>1. 教育委員会事務局の新庁舎への移転について</p> <p>新庁舎建設が進んでいるが、教育委員会の新庁舎移転については、不安や不満、反対の声を多く聞く。このような中、移転は見直すべきと考え質問する。</p> <p>(1) 移転について体育・文化団体等をはじめ、町民の理解は得られているのか。</p> <p>(2) 仮に移転した場合、次のようなことが想定されるが、どう考えるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公民館機能としての役割はどうするのか。 ②職員不在では、総合文化会館は完全に貸館施設となってしまうが、教育施設として、これでいいのか。 ③移転した場合の事務局の管理・運営またその経費はどうするのか。 ④総合文化会館や体育センターで町主催事業や後援事業等を開催する場合に、担当職員は準備や後片付け等で新庁舎から何度も通わねばならない。かえって不便ではないのか。 <p>2. 町の施設で残置している廃焼却炉の解体撤去について</p> <p>学校等でのゴミ焼却が廃止されて久しいが、学校や農村環境改善センター等にはまだ焼却炉が残置されている。ダイオキシン類等の有毒物質の残留が予想され、また危険性も高い。</p> <p>早急に調査・解体・撤去が必要と考えるがどうか。</p>		

通告順位	12	通 告 者	8番 三石 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 役場新庁舎建設について</p> <p>(1) 今後のスケジュールは。</p> <p>(2) 全体の予算は。</p> <p>(3) 新庁舎の特徴は。</p> <p>(4) 部署等の配置はどうなっているのか。</p> <p>2. 中央グラウンドの整備について</p> <p>山手側の側溝整備はできないか。</p> <p>3. 地場産業について</p> <p>窯業・農業・観光業に対する支援策の財源として基金新設の考えはないか。</p>		